

共同産業株式会社

2024年度 環境活動レポート

(活動期間：2024年4月～2025年3月)

発行 2024年 7月 8日

環 境 方 針

基本理念

共同産業株式会社は、港湾荷役業、土木・建設業、工場内請負作業等におけるあらゆる事業活動が、地球環境に影響を及ぼすものであることを従業員一人一人が自覚し、環境負荷の軽減を念頭に行動して、地球環境の保全に努めることとします。

行動指針

1. 環境負荷の軽減を図るため、次の活動を実施します。
 - (1) 二酸化炭素の排出量については、省エネルギーの観点から車両及び重機類の燃料削減及び節電を実施します。
 - (2) 建設廃棄物のリサイクル率向上に努めます。
 - (3) 総排水量については、徹底した節水を励行し、排水量の削減を実行し、省資源に取組みます。

これらについては、環境活動計画を定め、定期的な見直しを行うとともに、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規、その他の要求事項を遵守します。
3. 環境への取組み状況は、環境活動レポートとしてとりまとめて公表します。
4. この環境方針は、日常業務や教育を通じて全従業員に周知徹底し、環境方針の意識を高めます。

2020年 4月 1日

共同産業株式会社

代表取締役 佐々木 哲夫

1. 会社の概要

(1) 会社名及び代表者名

共同産業株式会社
代表取締役 佐々木 哲夫

(2) 所在地

本社 社: 山口県山陽小野田市大字小野田6289番地の1
新小野田営業所: 山口県山陽小野田市新沖二丁目1番1号
中国電力株式会社新小野田発電所内
新宇部営業所 : 山口県宇部市大字妻崎開作1492番地29

(3) 法人設立年月日

1955年6月10日

(4) 資本金

3,000万円

(4) 環境管理責任者氏名及び事務局連絡先

責任者 取締役経理部長 小竹 純二 TEL 0836-83-3500
事務局 取締役経理部長 小竹 純二 TEL 0836-83-3500

(5) 事業内容

港湾荷役業、構内請負作業、建設業、産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業、一般貨物自動車運送事業

(6) 事業の規模

売上高 991 百万円(2024年度)

	事務所		新小野田 営業所	新宇部 営業所
	事務所	業務部		
従業員(名)	9	28	12	4
延べ床面積(m ²)	594.47	53.16	34.25	23.08

注1) 事務所 9名に代表取締役を含む。

注2) 事務所と業務部の647.63m²が自社分であり、他は賃貸物件である。

注) 新宇部営業所 2022年10月から移転

(7) 事業年度

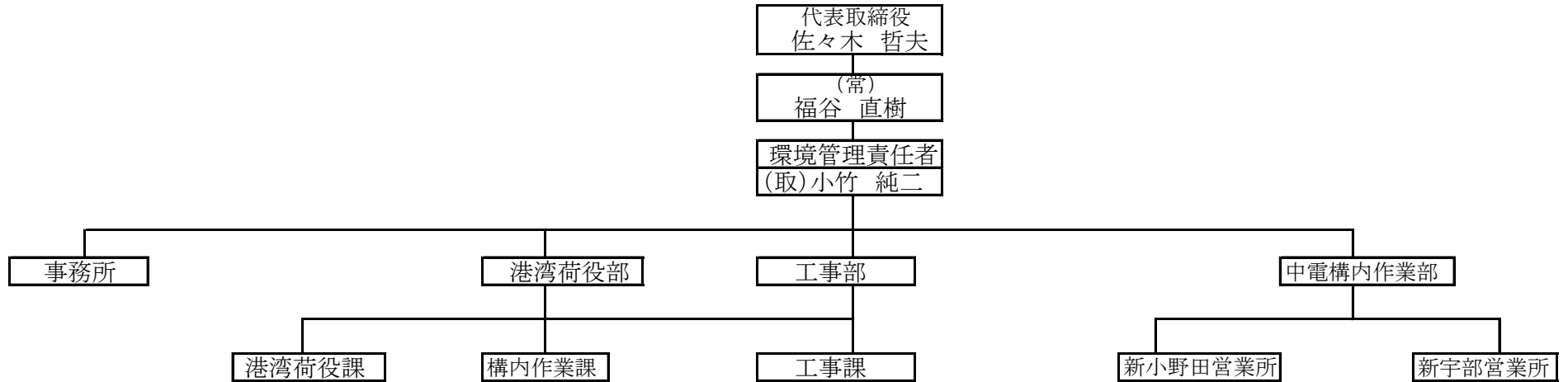
4月～3月

(8) エコアクション21認証登録範囲

全組織・全活動

エコアクション21実施体制

2024年 4月 1日



所属(役職)	役割・責任・権限・使命
代表者 (代表取締役社長)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
環境管理責任者 (取締役総務部長)	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する
事務所	電力、水消費量の管理 事務所廃棄物の廃棄量管理、リサイクル率管理、電力、水消費量の管理
業務部門 (常務取締役) 港湾荷役部 港湾荷役課 構内作業課 工事部 工事課 中国電力部門 新小野田 新宇部	各部門の把握／EA21の遂行を統括する。

産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 03506018552 号

許可取得
都道府県政令都市 山口県

積替保管 無

許可の年月日 令和 6 年 6 月 10 日

及び有効年月日 令和 11 年 6 月 5 日

許可項目 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く。)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残渣、動物系固形不要物、ゴムくず、ゴムくず、がれき類、鋳さい動物のふん尿、動物の死体(30日令未満の鶏に限る。)、ばいじん、13号廃棄物(これらは、石綿含有産業廃棄物であるものを含み、特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上20種類

運搬車両の種類と台数	種類	積載量(t)	台数
	ダンプ	8.7	1
	ダンプ	8.3	1
	ダンプ	10.1	1
	ダンプ	2.0	1
	普通トラック	2.0	1
	軽トラック	0.35	1
	ダンプ	9.60	1

特別管理産業廃棄物収集運搬業

許可番号 第 03556018552 号

許可取得
都道府県政令都市 山口県

積替保管 無

許可の年月日 令和 6 年 6 月 12 日

及び有効年月日 令和 11 年 6 月 5 日

許可項目 燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、鋳さい、ばいじん、13号廃棄物
感染性産業廃棄物、 廃石綿等
以上10種類

運搬車両の種類と台数	種類	積載量(t)	台数
	ダンプ	8.7	1
	ダンプ	8.3	1
	ダンプ	10.1	1
	ダンプ	2.0	1
	普通トラック	2.0	1
	軽トラック	0.35	1
	ダンプ	9.60	1

一般廃棄物収集運搬業

許可番号 第119号

許可取得
都道府県政令都市 宇部市

許可の年月日 令和6年4月1日

及び有効年月日 令和8年3月31日

許可項目 事業系一般廃棄物（し尿及び浄化槽汚泥・汚水を除く）

運搬車両の種類と台数	種類	積載量(t)	台数
	ダンプ	2.0	1

許可番号 指令 第11号

許可取得
都道府県政令都市 山陽小野田市

許可の年月日 令和6年4月1日

及び有効年月日 令和8年3月31日

許可項目 可燃ごみ 厨芥類、プラスチック類、紙くず
不燃ごみ 金属類、陶磁器類、ガラス片
資源ゴミ 新聞、雑誌、ダンボール、びん、かん

運搬車両の種類と台数	種類	積載量(t)	台数
	ダンプ	2.0	1

処 理 実 績

受託した産業廃棄物の収集運搬実績 (t) 343

受託した特別産業廃棄物の収集運搬実績 (t) 6,532

受託した一般廃棄物の収集運搬実績 (t) 19

3. 2023年度の環境目標、中期目標および実績・判定、並びに、次年度の環境目標

項目		年	2024年度			2025年度	2026年度	(見直し後) 次年度 2025年度の 環境目標
		2017年度 基準年	目標	実績	判定	目標	目標	
電力使用量の削減	kWh	56,181	55,057	50,710	達成	55,057	55,057	55,057
	削減率%		削減率 2%	-8%		削減率 2%	削減率 2%	削減率 2%
重機類の燃料(軽油)削減	ℓ	282,833	280,005	219,916	達成	280,005	280,005	280,005
	削減率%		削減率 1%	-21%		削減率 1%	削減率 1%	削減率 1%
二酸化炭素排出量合計 (上記の他、ガソリン・灯油分を含む)	kg-CO ₂	789,089	773,307	614,889	達成	773,307	773,307	773,307
			削減率 2%	-20%		削減率 2%	削減率 2%	削減率 2%
節水	m ³	531	520	363	達成	520	520	520
	削減率%		削減率 2%	-30%		削減率 2%	削減率 2%	削減率 2%
建設廃棄物リサイクル率 の向上	%	85	90	100	達成	90	90	90

(注) 二酸化炭素排出係数：「中電の2023年度の調整後排出係数（メニ-H残渣）：0.520kg-CO₂/kWhを適用」

(注) PRTR法対象の化学物質の使用量は少なく、かつ、適正に管理しているので、化学物質削減の環境目標を掲げません。

4. 環境活動の取組計画と評価、次年度の環境活動計画(取組)

(目標) 目標を達成するための取組	目標の 達成状況	取組の評価と次年度の環境活動計画(取組)
<u>(電力使用量の削減)</u> ・昼休み、休憩時の消灯 ・節電タップの使用 ・空調温度の適正管理	達成	・蛍光灯→LED化は、取替のタイミングで順次進行している。 ・昼休み、休憩時の消灯…定着している。 ・ネット環境等に合わせ、適時行う。 ・今後もエアコンの温度設定等は、無理をしない範囲で調整して行く。 ・来期は本社のエアコン全てを省エネタイプに更新する。
<u>重機類の燃料(軽油)削減</u> ・アイドリングストップ ・急加速・急発進の抑制 ・休憩時のエンジン停止	達成	・目標達成となった。次年度も今年度の取り組みを継続する。 ・重機の注油等、メンテナンスも含めて省エネ運転を心掛け次年度も、安全第一で行う。 ・状況や、作業現場によりアイドリングのままの必要もある例外を除き守られている。 ・休憩時もアイドリングをしなければならない例外を除き守られている。 ・機械更新による省エネ効果を引き続き注視する。
<u>節水</u> ・節水の励行 ・水道配管の漏水点検	達成	・業務部は、取扱貨物の種類による洗濯回数の減少による影響あり。 目標達成。次年度もこの取組を継続する。 ・事務所については今期も、夏場につき、秋においても使用量が増え、目標未達となる。 全体では目標達成となるも、事務所の節水に努める。
<u>建設廃棄物のリサイクル率向上</u> ・分別の徹底	達成	・分別の徹底が出来ている。 ・次年度もこの取り組みを継続する。

5. 環境関連法規制等の遵守状況

- ・環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、法規制等の逸脱はありませんでした。また、過去3年間にわたって関係当局よりの違反等の指摘や外部からの苦情、訴訟等もありませんでした。

法律名等	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
資源有効利用促進法	○
PRTR法	○
建設リサイクル制法	○
振動規制法	○
フロン排出抑制法	○
浄化槽法	○

6. 代表者による全体の評価と見直しの結果

(1) 活動状況の総括

- ・今年度も、人員が足りない状態が続いて苦勞しています。
- 安全面においても、従業員の補充は不可欠なので、引き続き採用活動に力を入れ、学校訪問や、ホームページ更新等にも力を入れております。成果は少しずつ出ております。
- ・「安全衛生活動で無事故を目指す事は、即ち環境活動とも連動する。」と位置づけている会社の方針としても、来期も一層力を入れて取り組む所存です。
- ・環境活動の目標値は全体としては、達成出来ました。
- この結果に甘んじることなく、CO2排出の大半を占める軽油の消費量抑制には引き続き注意して行きます。
- クレーンの更新(新型)による、燃費の動向を見ながら、来期以降のクレーンの更新(新型)を検討する事とします。
- ・次年度も、重機類の日常点検・メンテナンス等について注意を払い消耗品の抑制を図り、日常の省エネ行動を実践しエネルギー削減に努めます。
- ・来期は、今期申請出来なかった、山口県の省エネ補助金の申請をし、エアコンの省エネ化を図る事を計画しています。
- ・次年度も環境活動の目標は、現在のまま継続する事とし、同時に、従業員採用活動は安全衛生活動の一環と捉え、活動いたします。

(2) 見直しの結果

- ・環境方針、環境目標、環境活動計画、および、実施体制は変更しません。